

コンビナート港湾における地震・津波対策検討会議（第3回）

日 時：平成24年8月2日（木）15：00～17：00

場 所：中央合同庁舎3号館 4階幹部会議室

コンビナート港湾における地震・津波対策の取りまとめ結果に関する事務局説明の後、質疑応答が行われた。

主なご意見は以下のとおり。

- タンクの耐震対策について、概ね対策は講じられているとのことで、引き続き対応を進めてほしい。また、東京湾は国民生活上の動脈なので、機能が止まることのないよう施設の耐震性の向上などを進めてほしい。
- 関東地方整備局において行われたコンビナート護岸の液状化に関する検討は、前提条件等に多くの疑問点があることから、追加ケースも含め解析モデルや計算内容等に関する検証を引き続き行う必要がある。
- 今回の取りまとめ結果をフォローアップしていくことが重要であり、関係者間で引き続き連携した取り組みを行うべき。
- 企業だけの対策には限界があることから、公的な支援についても今後検討して頂きたい。
- 今回の会議を通じて、関係者間で問題意識のすり合わせが出来た。今後は、対策の方向性を具体的な施策に落とし込むため、引き続き省庁間で連携させて頂きたい。
- 節目節目で本会議の結果を引き続きフォローアップしていくことが必要。今回の会議をベースにして、随時情報交換をしつつ進めていくべき。

今回の会議の結論として、取りまとめた対策の方向性については、関係者間で引き続きフォローアップしていくことが確認された。

以上